



会報

日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2023年夏号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人 日本太鼓財団 理事長 大澤 和彦

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

日本太鼓ジャンボリー 2023

5月27日(土) 日本太鼓ジャンボリー 2023を文京シビックホール(東京都文京区)にて開催いたしました。

はじめに、日本太鼓財団 大澤 和彦 理事長、関八州太鼓連合 湯澤 元一 会長が挨拶をした後、東京都支部合同チームの演奏で幕を開け、それぞれ特色ある11団体が渾身の演奏を披露しました。

最後は、出演団体全員が舞台に上がり、お客様とともに手締めを行い、盛況裡に終了しました。

お客様からは「久しぶりに生演奏を見ることができて良かった!」「太鼓に元気と希望をもらった」などうれしい感想が寄せられ、大好評をいただきました。

ご来場いただきました皆さま並びに関係者の方々に心より感謝申し上げます。

1. 日本太鼓財団

東京都支部合同チーム(東京)

東京都支部加盟25団体から選ばれた41名が、年齢や性別、所属団体の枠を越えて一つとなり、合同曲「樺」を披露しました。



2. 越中いさみ太鼓保存会(富山)

砺波市野村島の鎮守桑野神社の神事に起因し、1952年に保存会を結成して2022年には70周年を迎えました。太鼓に合わせて笛や鳴り物等を使う団体が多い中、笛(曲)に合わせて打ち込む珍しい太鼓です。



3. 紀州 和歌山太鼓(和歌山)

昨年度支部を開設した和歌山5団体から結成されました。太鼓の裏まで打ち込み胴がうねり鳴る、紀州人の心意気が伝わる音を目指しています。



4. 江州 荒川組(滋賀)

滋賀県から本公演のために結成された団体です。昔から滋賀県で踊られる盆踊り「江州音頭」の掛け声『宵と宵や真っ赤どっこいさのせ』が曲中に登場し、お祭りの楽しい雰囲気を表現しました。



5. 恵那のまつり太鼓(岐阜)

障害者支援施設の職員・利用者で構成され、今年で結成33年目を迎えました。演奏曲「鼓楽」はパートごとにソロがあり、メロディが移り変わりがりながら力強くなっていくラストが印象的でした。



6. 愛宕陣太鼓連響風組（福島）

結成当初から変わらない、一心不乱に太鼓を打ち込み、ストレートに観衆の心に響かせるスタイルが特徴です。福島の豊かな自然をモチーフにした創作太鼓の曲でステージを彩りました。



8. 山内強嗣（静岡）

御殿場市にて富岳太鼓代表、社会福祉法人富岳会理事長として活動されています。2022年度「第19回日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝き、内閣総理大臣賞を受賞されました。



10. 善通寺龍神太鼓（香川）

昨年結成50年目を迎え、県内外で広く活動しています。若者の内なる気持ちを「善龍」と「悪龍」に例え、複雑に絡み合うリズムで葛藤する様を心地よいテンポで表現した曲を披露しました。



（フィナーレの様子）

7. 八丈太鼓六人会（東京）

戦国時代、刀を失った流人がうっぷんを桴に託し、太鼓を打ち鳴らしたことを起源に持ちます。シンプルさと自由奔放に打つスタイルで、少人数ながら存在感たっぷりの演奏でした。



9. 橘太鼓「響座」ジュニア（宮崎）

宮崎市を拠点に2005年に結成し、岩切響一代表の下活動しています。2022年度「第25回日本太鼓ジュニアコンクール」で5度目の優勝に輝き、内閣総理大臣賞を受賞されました。



11. 九州 音鼓組（長崎）

長崎県大村市を拠点に活動している団体です。曲中に篠笛や担ぎ太鼓など、次々と構成が変化する華やかなステージで、トリにふさわしい演奏を披露しました。



日本太鼓ジャンボリー 2024は
2024年6月9日（日）
東京都文京区
「文京シビックホール 大ホール」
で開催予定！

「日本太鼓ジャンボリー 2023を終えて」

関八州太鼓連合 会長 湯澤 元一

「日本太鼓ジャンボリー 2023」においては、大勢のお客さまにご来場頂き、誠にありがとうございました。

さて、この度私が関八州太鼓連合会長、日本太鼓財団東京都支部支部長に就任させて頂いて初の大きな舞台となりました。全国各地から名立たる11チームが集結し、どのような演奏を見せてくれるのか、どのような舞台にしてくれるのか、私は期待に胸を膨らませて本番当日を迎えました。そして想像以上にどのチームも、素晴らしい演奏をしてくださり心躍らされました。

和太鼓とは郷土芸能であり、まさに全国各地の特色ある音楽であったかと思います。私は、よく「大和魂」という言葉を使います。遥か昔より太鼓は色々な場面で大事な役割を果たしており、遠くにいる仲間に太鼓の音で合図を送る、時を知らせる、などいろいろな伝達手段として使われてきました。

今公演では、各チームがお客さま、共演者、スタッフに「大和魂」で最高のパフォーマンスをお伝え出来たかと私自身感じており、大変満足のいく舞台となりました。今後もこのような「大和魂」を皆さまに沢山お届け出来るように、日本太鼓財団さまのお力添えのもとに最大限の努力をして参ります。

そして何事もなく大盛況に終わりましたのも、日頃よりご支援、ご協力を頂いております大澤理事長をはじめ関係各所の皆さまのおかげでございます。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

「日本太鼓ジャンボリー 2023に出演して」

紀州 和歌山太鼓 田原 綾子

このたびは、「日本太鼓ジャンボリー」に出演という貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

出演が決まったときからみんなワクワクが止まらず、さっそく有志を募ってチームを作りましたが、出演したい人がたくさん…！！副支部長夫妻は泣く泣く出演をあきらめ、裏方で指導に専念してくださいました。そして以前から作ろうと思っていた和歌山県支部のハッピー作りの話がこれを機会に一気に進みました。「デザインは？」「色は？」「長さは？」とみんなからのアイデアを取り入れ、朱赤のきれいなハッピーができあがりました。

老若男女ちりばめたチームでの練習は毎回とても楽しく、疲れてもお互い声を掛けあい、笑わせあいながら和気あいあいと進めることができました。また、コンサートが近づくと、「東京までどうやって行くん？」「ハッピーの下は何を着る？」など、話が盛り上がりました。

そして当日、遠い和歌山の地より、何とかみんなホールにたどり着きましたが、大移動の疲れか、都会の雰囲気圧迫されたのか、リハでは緊張して超ハイスピード。でもそこはさすがに場数を踏んでいる副支部長が、細やかなアドバイスをしてくれ、演奏前には一人一人の衣装チェックもしてくれ、とても心強かったです。本番も顔が引きつったまま演奏するメンバーもいましたが、何とか最後まで演奏することができ、本当に貴重で、最高に充実した瞬間を味わうことができました。

和太鼓をきっかけに、今回のコンサートを通じて、またたくさんの幸せをいただきました。日本太鼓財団のみなさまには心から感謝しております。これからも和歌山県の太鼓文化発展のために力を尽くしますので、ご指導のほどよろしく願いいたします。

「日本太鼓ジャンボリー 2023に出演して」

江州 荒川組 荒川 明穂

私たち、江州荒川組は滋賀県支部合同チームとして参加いたしました。加盟団体のうち4団体から数名ずつ集まり、演奏に向けて稽古を重ねました。滋賀県支部の加盟団体は、イベントなどで顔を合わせることがあっても、一緒に演奏することは多くないため、合同チームとしてうまくいくか不安でいっぱいでした。ですが、一つの目標に向けて皆で話し合い、自分たちの形を作り上げられたことは、たいへん貴重な経験だったと感じております。

また日本太鼓財団が主催するイベントへ参加することが初めてのため「滋賀県支部にはどのような太鼓打ちが集まっているか」を知って頂ける良き機会であり、短い時間でどれだけ私たちを表現できるかが大きな課題でもありました。

私が思う滋賀県支部の太鼓打ちは、太鼓を通じて人と人との繋がりを楽しみ、どんな時も笑顔が溢れる、そのような人たちの集まりだと思います。その中に私もおり、それがすごく居心地が良いと感じています。皆の笑顔に満ちた温かい人柄が、演奏した楽曲によって聞いて下さったお客さまや、関係者の皆さまの心に届いていたら嬉しいなと思います。

そして、出演者であることを忘れてしまうほどの、各出演団体の素晴らしい演奏は、聴いていて胸が踊りました。皆さまと同じ舞台に立てたことたいへん嬉しく、また勉強になりました。

最後に、大澤和彦理事長をはじめ、日本太鼓財団の皆さま、その他舞台関係者の皆さまには、素晴らしい機会を作って頂きましたこと感謝いたしますと共に、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

3月のジュニアコンクールに来日した海外2団体より感想文をいただきました。

クリチーバ若葉太鼓

リーダー 渡辺 ヘオロン アウグスト

私が伝えたい最初のメッセージは感謝です。日本に行くことはとても楽しみで、ブラジルから来た私たちはあらゆる瞬間を最大限に活用しようと思いました。

新型コロナウイルスの問題で、いつもに比べて日本に長くいることができなかったのは残念ですが、みんなの記憶に残る特別な瞬間がたくさんありました。ブラジルに戻ってから、一緒にメンバーといるとき、日本での話をし、思い出します。

観光、買い物、他の団体との交流、特に演奏機会がもっとあればよかったなとみんなで思っています。

最後に、これは私の人生で最高の瞬間であり、今後も太鼓を上達させ、経験を後輩たちに伝えていくためのモチベーションとなり、私の心にいつまでも残ると確信しています。

渡辺 ヘオロン ベアトリス

日本へ行くことは私にとって忘れられない経験でした。

私たちが日本に着いたとき、文化の違いが多く、戸惑うこともありましたが、すぐに慣れました。食べ物はとてもおいしかったし、新しいことに挑戦するのをいつも楽しみにしていました。自動販売機で色々な飲み物を試してみたいと思っていました。バスから見える景色に驚かされ、初めて見る雪は本当に冷たかったです。兼六園や金箔貼り体験はとても楽しく、また桜はとても美しく、素敵な写真をたくさん撮ることができました。

最初のリハーサルの日、私は太鼓を演奏することにとっても興奮していました。太鼓の音は、ブラジルの太鼓とはとても異なっていました。そして、本番当日、このような演奏の機会を得て、仲間たちと一緒にいられたことをとてもうれしく思いました。

他の団体との交流もとても楽しく、お互いの言葉を話せなくてもコミュニケーションをとることができてとても良かったです。みんなとてもフレンドリーでした。

日本に来ることができてとてもうれしかったです。この旅行を実現するために尽力してくれたすべての人にとっても感謝しています。すごく楽しい経験で、仲間と一緒にたくさんの良い思い出を作ることができました。



(プレゼント交換の様子)

葫蘆墩 Smile 太鼓團

代表 馮 韻怡

今回参加するメンバーは、ほとんどが高校生で、中には遠方の高校に通っている子もいます。その中で4人は大学受験を控えていて、とても厳しいですが、毎日練習を欠かさずに頑張っていました。

リハーサルの時に太鼓に慣れず次々とバチが折れてしまいました。少し焦りを感じましたが、皆で話し合い、克服し2回目には良くなりました。

コンクール当日の演奏では、皆完全に太鼓に溶け込み楽しく演奏しました。結果は激しい競争の末、特別賞を頂きました。全力で演奏しましたので、達成感を感じるとともに良い思い出になりました。

応援してくださった皆さまに心から感謝いたします。お蔭で学業中心の台湾社会に太鼓を通して、礼儀正しい態度や妥協せずに頑張る精神を養成することができました。また、国際舞台での経験は、大きな糧となることを確信しております。

王理事長をはじめ、指導して下さった長谷川先生、太鼓財団の皆さま、いつもありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。感謝！最感謝！

陳 雯翔

この度、台湾代表としてジュニアコンクールに参加できる事を大変嬉しく思います。葫蘆墩 Smile 太鼓團は4回目の出場ですが、私は初めてです。

土曜日は全体のリハーサルを拝見し、各団体の素晴らしい演奏に感動しましたが、自分達の自信は失われませんでした。日本、ブラジルチームとの交流会もあり、コロナ禍の配慮でプレゼント交換くらいでしたが皆の気持ちを感じました。

コンクールの当日、皆練習の為、色々犠牲にし、一緒に頑張ってきたという同じ思いで、自分たちの太鼓に対する情熱の伝説を作ろうと精一杯気持ち良く演奏しました。結果は思ったより良くなかったですが、勝ち負けだけではなく、心の安らぎと達成感を味わうことができました。

私たちを指導して下さった長谷川先生、王理事長、めい先生、学先生、馮先生、そして常に支えてくれた両親に感謝いたします。また、主催の日本太鼓財団の大澤理事長をはじめ、事務局の皆さまに感謝いたします。今回のコンクールでは、あきらめないで頑張る事を学びました。この体験を忘れず、次のステップに活かしたいと思います。



(富士山の目の前で クリチーバ若葉太鼓)

ウズベキスタン太鼓公演 ～首都タシケント ナヴォイ劇場にて～

6月8日(木)から6月12日(月)にかけて、ウズベキスタンに御陣乗太鼓保存会(石川)と豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)を派遣いたしました。これは日本財団より文化交流の一環として和太鼓演奏会開催の要請を受けたもので、日本に対する理解や認識を高めるとともに、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的に実施しました。

公演は首都タシケントにある「ナヴォイ劇場」にて開催いたしました。この劇場は、第二次世界大戦後、旧ソビエト連邦の捕虜となった日本人が建設に関わりました。1966年に起こった大地震の際には、町の建物の3分の2が崩壊した中、この劇場は耐え抜き復興の礎となり、両国の友好に寄与した建築物です。

公演当日6月10日(土)は約800名が詰めかけ、会場は満員となりました。

開演に先立ち、主催者を代表して日本財団 尾形 武寿理事長、ウズベキスタン最高議会上院第一副議長

サディク サファーエフ氏、在ウズベキスタン日本国大使館 羽鳥 隆 特命全権大使よりご挨拶の後、2団体による演奏が行われました。

まず、御陣乗太鼓保存会の面を着けた5人が雄たけびを上げたり、にらみを利かせたりしながら代わる代わる太鼓を打ち鳴らす迫力ある演奏に、観客から大きな歓声が上がりました。続いて、豊の国ゆふいん源流太鼓は築き上げてきた熟練の技を存分に披露し、その速い桴捌きに観客は圧倒されていました。

観客は普段見ることのできない日本文化に興味津々の様子で、演奏が終わるごとに惜しめない拍手が沸き上がっていました。

最後は日本太鼓財団 長谷川 義 会長による音頭で観客とともに三本締めを行い、閉幕となりました。

共催の日本財団をはじめ、出演団体の皆さま、本公演の実現のためにご尽力いただきました関係者の方々に、心より感謝申し上げます。

「ウズベキスタン公演にて！」

豊の国ゆふいん源流太鼓 会長 長谷川 義

中央アジアの国、旧ソ連の構成国で古代シルクロードの交易路として発展した歴史のある国。グローバルな活動をされている日本財団、今回その文化使節団として石川県の御陣乗太鼓保存会と我が大分県の豊の国ゆふいん源流太鼓が選ばれた。通常では体験できない国での太鼓公演、責任重大である。

6月7日からの6日間。全力で練習を重ね、6日間の交流の旅の始まり。移動には約6時間。着くと砂漠の中のアオシスのようなきれいな街並みである。だが体感温度が40度以上で、これまた初めての体験。

当日、一日限りの太鼓公演。歴史ある劇場での御陣乗太鼓との打合せ、念入りのリハーサル。本番を迎え、いざスタート。日頃の練習の成果を十分に発揮。750席、会場の客席は満席の大歓声。スタンディングオベーションで、羽鳥大使、関係者の皆様からのブラボーの声に感動し、総立ち。最後に日本式三本締めで歓喜の中で無事終演することができた。日本財団尾形理事長、関係者の皆様からも「今後国際交流に太鼓を」との喜びの言葉をいただき、うれしい思いでいっぱいになった。文化も言語も違う国での太鼓演奏。太鼓という音楽のすばらしさを改めて自覚し、太鼓の魅力、太鼓のパワー、和太鼓への思いをさらなる発展のために精進していく再決意の瞬間である。

公演終了の次の日は市内観光。歴史の街並みを堪能した。タシケント・ナヴォイ劇場は日本人の人達が建立に携われ、巨大地震の時唯一、この建物だけが残し、市民の避難場所として安全で揺るがない劇場として今も残っていると聞き、現地の方々がやさしく笑顔で迎えてくれた意味がわかった。先代の方々や日本財団の活動が人類愛として息づいていることに感動した。

日本財団の心からの配慮と日本太鼓財団のスタッフのお陰で無事、帰国することができました。今後また、文化交流の使節団の一員として和太鼓が世界に響く様に、努力、精進。太鼓界の発展と日本財団、太鼓財団と共に歩んで行く所存でございます。最後にウズベキスタンにおける太鼓交流使節団のためにご尽力いただいた関係者の皆様に心から御礼申し上げます。



(大型ポスターの前で記念撮影)

「ウズベキスタン公演に出演して」

御陣乗太鼓保存会 北岡 周治

ウズベキスタン太鼓公演にあたり、まずは、日本財団、日本太鼓財団、在ウズベキスタン日本国大使館をはじめ、関係各位に対し、深く感謝申し上げます。

当初話を頂いた時、世界情勢を考えると、二の足を踏みましたが、概要を聞き、決心した次第であります。

ウズベキスタンは地図上何処にあるのか、そこから始まりました。日本からの直行便もほとんど無いとの事でした。韓国経由で少し長旅でしたが、いざ着いてみると街並みもきれいに整備され、建物も歴史的な雰囲気満ちて、観光だけに行っても価値があると思いました。国民性は明るく、現地のガイドさんも分かりやすく説明してくれました。食べ物に関しては少し油くどい様に感じました。ただパンは最高に美味しかったです。通貨の両替はまずはドル、ドルからウズベキスタン通貨スムにと、大変厄介でした。

さて公演に関してです。ナヴォイ劇場はバレエ、オペラ、コンサートが上演されるだけあって、とても素晴らしい建造物で、控室のあちらこちらからオペラの練習をしているピアノに合わせた歌声が聞こえました。

私共御陣乗太鼓保存会は、ゆふいん源流太鼓共々、口には出さずとも切磋琢磨し良き公演が出来たと思います。客席は満席で日本の伝統の太鼓演奏に魅入っていました。最後には長谷川会長の三本締めに合わせてお客様も総立ちになり拍手で劇場が割れんばかりでした。参加して良かったです。とにかく感動しました。

源流太鼓には長時間演奏して頂き誠にありがとうございました。最後に、とにかく暑かったです。



(ナヴォイ劇場を背景に)

各種会議

<理事会>

6月5日(月) 東京にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

2023年度第1回理事会

1. 2022年度事業報告(案)
 2. 2022年度決算報告(案)
 3. 反社会的勢力排除に関する誓約について
 4. 役員賠償責任保険の加入について
- 報告事項 職務執行状況

<評議員会>

6月22日(木) 東京にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

2023年度定時評議員会

1. 2022年度事業報告(案)
 2. 2022年度決算報告(案)
- 報告事項

第15回台湾太鼓講習会

7月8・9日(土日) 台湾太鼓協会主催の第15回台湾太鼓講習会を、台北桃園国際空港に近い「救國團復興青年活動中心」にて実施し、台湾全土から164名が受講しました。

開会式では、王妙涓理事長の挨拶に続いて日本からの講師を紹介され、総合指導の古屋邦夫技術委員長が講習会の内容を説明しました。講習会が始まると、受講生は講師の指導を一生懸命聴いていました。

○基本講座

- | | |
|-------------|------|
| 3級基本講座 | 野方嘉孝 |
| 4級基本講座 | 松枝明美 |
| 総合指導・5級基本講座 | 古屋邦夫 |

○専門講座

単式単打法講座(締太鼓)

長谷川 義(豊の国ゆふいん源流太鼓・大分)

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- | | | |
|------|-------|-------------|
| 1級検定 | 8名受検 | 8名合格(2名認定) |
| 2級検定 | 22名受検 | 22名合格(6名認定) |
| 3級検定 | 21名受検 | 21名合格・認定 |
| 4級検定 | 44名受検 | 44名合格・認定 |
| 5級検定 | 58名受検 | 58名合格・認定 |



(5級基本講座)

事務局だより

第70回日本太鼓全国講習会（福島）

期 日：2023年8月26・27日（土日）

会 場：須賀川市文化センター

〒962-0054 福島県須賀川市牛袋町11番地 Tel. 0248-76-7777

主 催：公益財団法人 日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫（技術委員会委員長）

基本講座

3級基本講座 渡辺徳太郎

4級基本講座 齋藤 通夫

5級基本講座（初心者講座） 安江 信寿

専門講座

単式単打法講座（担ぎ桶太鼓） 岩切 邦光（橘太鼓「響座」・宮崎）

単式複打法講座 松枝 明美（和太鼓すわびと・長野）

複式複打法講座 高野 右吉（高野右吉と秩父社中・埼玉）

講話 浅野 昭利（（一財）浅野太鼓文化研究所理事長）

申 込 先：8ページ目下部の公益財団法人 日本太鼓財団までお申込みください。

担当：笠原、山本

お問合せ：日本太鼓財団福島県支部 事務局長 国分 忠一

Tel. 090-6680-0777

申込締切：8月4日（金）＊当日到着分まで有効

第94回日本太鼓支部講習会（北海道道西）

期 日：2023年9月23日・24日（土日）

会 場：幌向ほっとかん

〒069-0371 北海道岩見沢市幌向南1条1丁目70番地5 Tel. 0126-26-1548

主 催：日本太鼓財団北海道道西支部

総合指導 古屋 邦夫（技術委員会委員長）

＊詳細は決まり次第当財団公式サイトに掲載いたします。

<お問合せ・申込先>

日本太鼓財団北海道道西支部 支部長 秦野 智徳

〒069-0372 北海道岩見沢市幌向南2条3丁目315-18

Tel. 0126-26-2825

第8回大学太鼓フェスティバル

期 日：2023年8月25日（金） 開場17:00 開演17:30

会 場：文京シビックホール 大ホール

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

主 催：公益財団法人 日本太鼓財団

共 催：大学太鼓連盟

協 賛：日本財団

◇出演団体（予定）：12団体（6都県）

東京理科大学和太鼓樹（千葉）、神田外語大学和太鼓サークル神楽（千葉）、

田中孝記念立教大学 コミュニティ福祉学部和太鼓プロジェクト 絆の会（埼玉）、

立教大学合唱団アヒル会（東京）、武蔵野大学和太鼓隼（東京）、和太鼓サークル樂華（東京）、

日本体育大学 伝統芸能和太鼓同好会「和桜」（東京）、中央大学和太鼓サークル「鼓央」（東京）、

横浜国立大学「みんけん」（民謡研究会合唱団）（神奈川）、洗足学園音楽大学和太鼓部「鼓弾」（神奈川）、

大同大学和太鼓同好会「咲楽」（愛知）、流通科学大学和太鼓部（兵庫）

入 場 料
無 料

第25回日本太鼓全国障害者大会

期 日:2023年10月1日(日) 開場11:30 開演12:00
会 場:文京シビックホール 大ホール
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21
主 催:公益財団法人 日本太鼓財団
共 催:社会福祉法人 富岳会
主 管:関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
協 賛:日本財団
出場団体:約30団体

入 場 料
無 料

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」

期 日:2023年10月15日(日) 開場10:00 開演10:30
会 場:金沢歌劇座 大ホール
〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地 Tel. 076-220-2501
主 催:文化庁/厚生労働省/石川県/石川県教育委員会/金沢市/金沢市教育委員会/
いしかわ百万石文化祭2023実行委員会/いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会/
公益財団法人日本太鼓財団
主 管:公益社団法人石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部
出演団体(予定)
◇オープニング 公益社団法人 石川県太鼓連盟(石川)
◇公募団体:31団体(15道県・台湾)
地獄太鼓(北海道)、法領田獅子踊り保存会(岩手)、松本敏春(加賀の太鼓「無限」)、朝霞太鼓、
打族(Da-zoku)、田上本町たいこ倶楽部、チビッ子九谷太鼓、出城虫送り太鼓保存会、手取亢龍太鼓保存会、
天徳幼稚園保護者サークル 天悠楽、もろえ夢太鼓 鼓太郎・鼓太姫、輪島高洲太鼓、和太鼓サスケ、
和太鼓つばき(以上石川)、栃木県太鼓連盟(栃木)、群馬県立安中総合学園高等学校和太鼓部飛翔(群馬)、
武蔵駒王太鼓(埼玉)、開成水神雷太鼓保存会、華音(以上神奈川)、山梨県立笛吹高等学校すいれき太鼓部、
甲斐乃和太鼓 心響会(以上山梨)、大治太鼓保存会(愛知)、美濃国 高賀山太鼓(岐阜)、
御璃刃(三重)、あき銭太鼓 水和会、十五鼓乃会、太鼓童子こかぶ広島(以上広島)、
打吹童子ばやし・和太鼓LEGEN童(鳥取)、赤熊太鼓保存会(佐賀)、荒尾太鼓(熊本)、
台湾源流打々(台湾)
◇ゲスト団体:6団体(6県)
加茂綱村太鼓(宮城)、銚子はね太鼓保存会(千葉)、高野右吉と秩父社中(埼玉)、
岐阜県太鼓連盟 獅子の会(岐阜)、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)、
橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎・第25回日本太鼓ジュニアコンクール優勝団体)

入 場 料
無 料

岩切邦光評議員が宮崎県地域文化功労賞・宮崎市芸術文化奨励賞を受賞

多年にわたり芸術文化の向上・普及又は文化財の保存・活用に尽力し、地域文化の振興に顕著な功績のあった個人又は団体に顕彰される宮崎県地域文化功労賞・宮崎市芸術文化奨励賞を岩切邦光評議員が受賞されました。岩切氏は、指導している団体「橘太鼓『響座』ジュニア」が日本太鼓ジュニアコンクールで優勝するなど、後進の育成を行うとともに、宮崎県太鼓連合を創立し、会長、名誉会長を歴任するなど、芸術文化の振興に大きく貢献されたことが高く評価されました。

受賞おめでとうございます。今後ますますのご活躍を期待しております。



公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION